

## 石川県原子力環境安全管理協議会 議事概要

1. 日 時：令和2年7月30日（木）13時30分～14時54分

2. 場 所：石川県庁 議会庁舎1階 大会議室

3. 出席者：委員24名、説明者、事務局他

4. 議事概要：

（1）「志賀原子力発電所の運転状況等」について、北陸電力から説明があった。

（委員）志賀1号機の非常用ディーゼル発電機のB号機の油滴下について、非常用ディーゼル発電機は3基あるということだが、他のA号機とC号機について、点検はしたが、ひび割れ等は特になかったという解釈でよいか。

（電力）他の2基について、点検した結果、ひび割れ等はなかった。ちなみに、2号機についても点検したが、ひび割れ等はなかった。

（2）「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書（案）（令和元年度第3報）」、「志賀原子力発電所周辺環境放射線監視結果報告書（案）（令和元年度第4報）」、「志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書（案）（令和元年度第2報）」、「志賀原子力発電所温排水影響調査結果報告書（案）（令和元年度第3報）」について、事務局から説明があり、協議会として承認された。

（委員）水道水からストロンチウム90が検出された件について、同じ志賀町内で検出されたところとされなかったところがあるが、水源や深さなどの違いはあるのか。

（事務局）今回、検出されなかった志賀町末吉については、地下水を水源としており、検出された志賀町富来領家については、表流水いわゆる河川水を水源としている。全国的な傾向をみると、河川水を水源としているものについては、ストロンチウム90が同レベルで検出されており、過去の核実験の影響によるものと推測される。

（3）「原子力発電所に対する保安検査結果等」について、志賀原子力規制事務所から説明があった。

（委員）規制庁の役割は非常に大切だと思うので、保安検査以外にも事業者のリスク管理等において、レベルアップが図れるように頑張ってほしい。

（規制事務所）これまでの保安検査は、法令遵守や社内ルールを守っているかということに重点をおいていたが、それだけではなくさらに、発電所の安全性を向上させるために必要な改善策を常に考えなくてはいけないという理解でいる。

（電力）事業者としても、自主的に発電所の安全性を向上させるため、自らいろんな事を考え、他社等のどういうところに良いところがあるのか見ながら、日本国内の全ての方々に信頼される会社、発電所にしたいという思いで頑張っている。

（4）令和2年1月28日に開催された協議会の議事概要について、事務局からホームページに公開している旨報告があった。